



新年のご挨拶

『「住まう」に、寄りそう。』を目指して

一般社団法人
全国賃貸不動産管理業協会
会長 佐々木 正勝

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員各位におかれましてはお健やかに新年をお迎えのことと大慶に存じます。

昨年は、関係各位におかれましては全宅管理の各種事業に深いご理解とご協力をいただき、円滑な組織運営ができましたことに衷心より感謝申し上げます。

会員支援の取り組みとして、本会会員と賃貸不動産経営管理士を対象とした、オンライン配信形式によるセミナー「賃貸管理サミット2025」を、9月22日から毎週1回(計5回)開催いたしました。全国から約800名の申込みがあり、「賃貸住宅管理法」「DX」「SNS」「外国人入居者対応」「セキュリティ対策」を取り上げた講演内容に高い評価をいただきました。

また、賃貸管理業界でのハラスメント行為の抑止を目的として、国土交通省と連携の上、「ハラスメント対策ロゴ」データを作成し、本会ホームページの「カスタマーハラスメント対策ページ」で、対策チラシと合わせてダウンロードできるように対応いたしました。こうした取り組みが、(株)全国賃貸住宅新聞社「賃貸トレンド

ニュース」の「従業員をどう守る? 管理会社のカスハラ対応」(6月26日配信)をはじめとした、複数のメディアで紹介されております。

賃貸不動産管理業の適正化に向けた取り組みとして、国土交通省が9月に発足した「賃貸住宅管理業のあり方の検討に係る有識者会議」に出席し意見具申を行っており、3月には報告書が取りまとめられることとなっております。

私たちのスローガン『「住まう」に、寄りそう。』を会員の皆様とともに実践してきた成果として、会員数は年々増加し、12月時点で6950社を超えております。

そのような中、昨年は熊本県支部が設立し、岩手県支部の設置も承認され、来年度以降に全国42支部体制となります。今後も強靱な組織の確立に向けた事業展開を図るとともに、更なる賃貸不動産管理業の適正化に向け、全宅連と連携の上、国土交通省等関係機関とも協議を重ねてまいります。

最後に皆様方の益々のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。